

備前市施策評価シート

(平成19年度事業)

施策名 (小項目)	結核・じん肺	コード	02-02-05	作成者	保健課長 氏名 岩崎 透 電話 64-1819
--------------	--------	-----	----------	-----	-------------------------------

備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	大項目(基本目標)	健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目(基本施策)	健やかで生き生きしたまちづくり
① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	市民やじん肺患者が結核に感染することを防ぐ	
② 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	結核登録者は減少傾向にあるが、新規発生者の多くは高齢者である。抵抗力の弱い乳幼児、高齢者への対策が重要となっている。 じん肺認定患者は合併症として肺がんが認められ、わずかに増加している。	
③ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> <li>検診などの実施</li> <li>健康教育の推進</li> </ul>	

④市民意識調査による施策の重要度・満足度

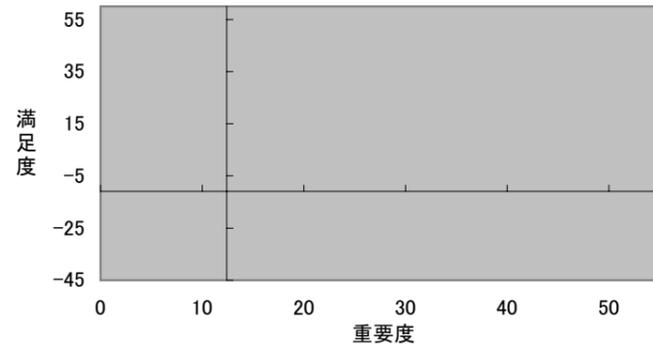
調査年度	H19	H20	H21
重要度(%)			
満足度(%)			

<見直し領域>  
その施策や事業が必要か否かの検討が必要

<維持領域>  
現状の方向を継続

<検討領域>  
その施策や事業の存続の検討が必要

<強化領域>  
内容等を見直し、市民満足度を高める事業を行う



調査結果に対するコメント、市民の反応等	結核はまだまだ油断のできない感染症であるため、検診率の向上に努力する。じん肺認定患者については肺機能低下に留意し、健康相談に応じていく必要がある。
---------------------	---------------------------------------------------------------------------

⑤ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			目標値			ベンチマーク	指標の説明
		H17	H18	H19	H20	H23	H28		
1 結核検診受診率	目標 %	54.0	54.0	55.0	60.0	60.0	65.0	43.6	受診者数/対象者数
	実績 %	53.2	58.2	47.9				H17岡山県受診率	
	達成率 %	98.5	107.8	87.1					
2 健康増進教室参加率	目標 %	29.0	27.0	27.0	30.0	35.0	40.0		参加人数/見舞金支給人数
	実績 %	26.8	18.6	17.8					
	達成率 %	92.4	68.9	65.9					
3	目標								
	実績								
	達成率								
4	目標								
	実績								
	達成率								

⑥ 施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									H20当初予算		
				H17			H18			H19					
				直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数			
1	B	結核予防事業	法定事務	5,410	4,087	0.67	4,697	3,465	0.65	4,164	1,751	0.27	☆☆☆	\$\$\$	4,421
2	D	じん肺患者見舞金事業	単市補助給付	10,697	2,415	0.30	10,914	2,275	0.25	10,677	1,356	0.16	☆☆	\$\$	10,454
3	C	感染症予防事業	国県補助事業	3	5,131	0.81	0	0	0.00	0	0	0.00	☆	\$	14
		狂犬病予防事業	法定事務	360			287	4,650	0.65	267	2,227	0.36	☆☆	\$\$	251
この施策に費やした資源(単位:千円,人)				H17	H18	H19	H20当初(直接事業費)								
				16,470	11,633	1.78	15,898	10,390	1.55	15,108	5,334	0.79			15,140

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果

⑧ 施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度(中・長期目標に対する)	3	結核の早期発見手段である割に検診率が低い。	3	健康増進教室の参加率が低い。さらに努力が必要である。
2 事業構成の適当性	3	じん肺見舞金は労災補償と明確な差異がなくなってきている。じん肺患者の健康増進につながる施策に変換していく必要がある。	3	予防対策に重点を置いた事業であり妥当である。
3 施策の有効性(評価年度の目標達成)	3	結核感染防止のための必要な事業である。	3	健康診断、健康相談等の事業推進が図られており有効な施策である。
担当への指示(今後の展開・協働の可能性・事業見直し・新規事業創出等)	結核の検診率向上に努めなければならない。じん肺患者の健康教育を充実させるとともに、じん肺患者見舞金の見直しを検討する必要がある。		健康教育事業において、専門医等の助言・指導を得て、肺機能の衰えを防止するためのリハビリテーションの必要性を普及・啓発すること。	
二次評価者コメント	じん肺は、高齢化になるにつれ発病率が高い。また、他の病気から引き起こす事例が見られることから、自己管理に努めると共に健康相談・健康診断を定期的を受診することへの指導を行う必要がある。			基本施策への貢献度
役職 民生部長 氏名 鶴川 晃匠				3中立